

核兵器のない世界・非核平和の日本を



国民平和進行2024

原水爆禁止国民平和進行が6月15日、甲賀・湖南地域を進行しました。午前9時から甲賀市役所前での出発式には、岩永市長・橋本議長から「世界から核兵器の廃絶を」と熱いメッセージとともに、原水爆禁止のペナントが手渡されました。その後、立憲民主党の福井議員と日本共産党の山岡・岡田・西山の3名の議員を先頭に、市内を進行しました。

6月議会 一般質問

6月議会は14日から19日まで一般質問が行われ、19人の議員が質問を行いました。山岡・岡田・西山の各議員は、老人クラブへの育成補助、带状疱疹ワクチン接種補助、木造住宅の耐震化の拡充など市民の切実な要求をもとにその実現をせまりました。3議員の質問概要は左に掲載している通りです。20日から25日まで各常任委員会が開催され、28日の本会議で、各議案・意見書などの討論、採決が行われます。ぜひ傍聴してください。

山岡光広議員

山岡光広議員は、今年度から実施された「3つの子育て無償化」の政策形成過程と今後のあり方、市民センターの指定管理とシルバー人材センター派遣、信号機のない危険な横断歩道に「LED表示板」の設置を、単位老人クラブへの育成補助について質問しました。

今年度から実施となった「オムツの無償化」「一時預かり保育」「病児・病後児保育の無償化」は、子育て世帯にとって負担軽減となるので評価できますが、事前に議会への説明も関係する保育園への聞き取りもなしに「今年度から実施」となったことには問題があると指摘。これに市長は「内容や方向性など実施いただく保育現場の声を十分汲み取れたか」という点では十分でない点もあったと認識している」と述べ、今後にその教訓を生かす、と答弁しました。

単位老人クラブに対する育成補助について「市老人クラブ連合会」に未加入であれば補助してこなかった問題について「甲賀市高齢者団体育成補助金要綱」には、このような条件は一切記載されていない。要綱に基づき、単位老人クラブから申請があれば支給すべき」と求めました。

岡田重美議員

岡田重美議員は、子ども基本条例の制定、投票区の見直し、生活保護世帯のエアコン購入補助と夏季加算の創設、带状疱疹ワクチン接種補助、コミバス南草津土山線の減便についての5項目について質問しました。

投票区の見直しにあたっては、投票区域編成審議会から出された「投票率の低下につながるのではないか」という急激な変化を避けるべき」という答申の内容を尊重すること、見直しの内容については、パブコメだけでなく市民に説明を行い、意見を聞くべきだと質しました。

带状疱疹ワクチン接種は有効な予防対策であり、県内においても接種助成を開始する市町が増えていることから、市においてもワクチン接種助成をすべきと求めました。担当部長からは「来年度予算で実施できるよう検討していきたい」との答弁がありました。

コミバス南草津土山線は、鉄道のない土山地域の住民にとっては大変便利で重要な路線ですが、4月よりこれまでの3便が1便に減便となりました。「高齢者の楽しみを奪わないで」と切実な声が聞かれており、減便となった便の復活を求めました。

西山実議員

西山実議員は、有機フッ素化合物の検査第二弾、学校行事として児童・生徒を危険な大阪・関西万博へ参加させることはやめるべき、木造住宅の耐震化の拡充と耐震診断の拡大について、水ロスポーツの森天守閣展望台・トリムコースの改修の4つのテーマで質問しました。

県が子ども達を公費で無料招待する計画を進めている大阪・関西万博。パビリオン建設の遅れに加え、3月末にメタンガスによる爆発事故が発生。さらに災害時の避難計画が不十分など、来場者の命を守るかさえ危ぶまれる事態です。

西山議員は、夢洲は廃棄物の最終処分場だった場所。児童・生徒の安全が確保されない以上、学校行事としての参加はすべきでないと求めました。これに対して教育長は、一次調査で、市内小中学校27校中、16校が教育旅行で万博を「活用予定、検討する」と回答しているが、安全確保、移動手段の方法・確保、経費負担、あるいは期日や見学のコースの限定など、協会や県からの正式な情報などが少なく、判断に苦慮しており、現時点で実施を決定している学校はない。「なにより児童・生徒の安全確保が大前提」と答えました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 6月 23日 第499号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044